

(昭和六十二年六月〜十月)

編集後記

◇新入会員歓迎会

六月三日(水)午前十時三十分より

於 尋源講堂

講演「仏教学への道しるべ」

学会長 福島光哉教授

◇六月六・七日(土・日) 日本印度学仏

教学会第三十八回学術大会が本学を会場

として開催された。意欲的な研究発表及

び質疑応答がなされたが、それらの他に

特に本学では、第一研究室が中心になり、

特別企画として「私にとって仏教研究と

は何か」というテーマのもとに海外から

D・ギーラ博士(バリ・カトリック研究

所教授)、L・O・ゴメズ博士(ミンガ

ン大学教授)、T・E・フェッター博士

(ライデン大学教授)の三人の仏教学者

を招いてシンポジウムを開催した。

◇仏教学科主任・本学会会長が福島教授

より古田和弘教授に交代した(七月十五

日付)。

ケンブリッジ大学教授、PTS会長の

K・R・ノーマン先生が来日されたのは

昭和六十一年の秋であった。ペーリ学仏

教文化学会、仏教大学学会、京都大学イ

ンド・仏教学会、大谷大学仏教学会の共

催で、ノーマン先生の講演会が京大会館

において開かれた。先生は、アショーク

カ王の碑文に関する御講演をされたが、

先生の深い学識と御研究に直接触れるこ

とができ、多くの感銘を受けた。

その後、ノーマン先生に「仏教学セミ

ナー」のための玉稿をお願いしたところ、

御講演のペーパーに加筆され、数カ月後

に先生よりお送りいただいた。それに際

し、渡辺文麿先生のお力添えをいただい

た。もつと早く掲載すべきであったが、

編集の都合により遅くなり、今号に英文

のまま載せることができた。

仏教学セミナーでは英文原稿をあまり

掲載していないが、本誌の充実のために、

今後とも外国の優れた学者の論文を掲載し

たいと思っている。

今号では書評として、長尾雅人先生の

御高著『撰大乘論註解 上・下』、ポール

・J・グリッフィス教授の御著書を紹介

をかねてとりあげた。

最後に、玉稿をお寄せいただいたノー

マン先生に御礼を申し上げるとともに、

いろいろ御尽力をいただいた渡辺文麿先

生に謝意を表する次第である。(HN)

賛助会員募集

次の要項で賛助(定期購読)会員を募集いたします。会員には本誌を発行後すみやかに送りし、本会の出版物を割引価格でおわけします。

○年間会費(二冊分)

二、〇〇〇円

○申込み 603 京都市北区小山上総町

大谷大学第一研究室内

大谷大学仏教学会

* 申し込みは郵便振替が便利です。

(京都 15303 大谷大学仏教学会)